

知っておこう・学びましょう

～手賀の杜地区に関わる防災クイズ～ シリーズ②

前回の5つの問題の続きです。各問とも正解は一つ。家族の皆さんでチャレンジしてみましょう。

問題6：避難所である沼南高校には愛犬などのペットと一緒に避難できますか？



- ① ペット同伴での屋内避難可能
- ② ペット同行は一定条件で可能
- ③ ペット同伴・同行は一切不可

問題7：手賀の杜地区の安否確認の際に住民世帯はどういった行動が期待されていますか？

- ① 居住家族の安全確認と安全であることを外部に知らせるタオルを玄関先に掲げる
- ② 班長に安全であることを知らせに行く
- ③ 災害対策本部のあるスクエアに集まる



次頁に続く

問題8：手賀の杜地区内に柏市が指定する土砂災害警戒区域はありますか？

- ① 手賀の杜中央公園沿い崖側一帯
- ② 手賀沼に近いスポーツ広場付近
- ③ 警戒区域指定箇所はない

問題9：大規模災害で電話が使えません。交通大渋滞で車も使えない中、家族に急病人や怪我人が発生した場合、あなたは？



- ① 手賀の杜スクエアへ行き救助を求める
- ② 近くの個人病院へ駆け込む
- ③ 自転車や徒歩で柏市役所(沼南庁舎)へ救助を求めに行く

問題10：被災時の食料や飲料水の備蓄はどうされますか？



- ① 同居家族の3日分を確保している
- ② 同居家族の10日～約半月分を確保している
- ③ 避難所に行けば何とかできるのでそれほどの備蓄は考えていない
- ④ 近くに自衛隊の施設もあり災害備蓄食料や飲料水などはいずれ入ってくるはずなので備蓄は当座の数日分程度の確保で大丈夫と思う

解答編 シリーズ②

網掛け太文字箇所がポイント(大事)です

問6：正解は㊸ ペット同伴(ずっと一緒に避難所にいることは)は出来ないですが、グラウンドの一定の場所に繋ぎとめての対応は可能(平成30年度に防災訓練で実施)です。自家用車両でのグラウンドへの避難も沼南高校との間で受け入れの協議が出来ていないことから、**ペットを飼っておられる世帯は、どこか他の預けられる先を探しておくことが賢明**です。

問7：正解は㊶ 手賀の杜地区では6年前の第1回目の防災訓練以降、毎年安全の目印として各家庭の玄関先に**安全の目印「タオル」を掲げて頂いています**。発災時に同居していない家族の安否は、それぞれの家族での対応となりますので、それぞれが安否確認の方法(災害伝言ダイヤルの使用方法・公衆電話の使い方など)を話し合っておきましょう。

問8：正解は㊹ **といっても油断禁物です。毎年の台風豪雨では、被災地のほとんどが、これまでに経験したことのない規模の風水による被災となっています**。手賀沼が平時より10メートル水位が上昇することを考える人はほとんどいませんが、それが絶対に起こらないとの断言は誰もできません。

問9：正解は㊶ 手賀の杜自治会では現在6台のトランシーバーを所有し、柏市地域災害対策本部が設置される**沼南近隣センターとの間での緊急連絡が可能**です。大規模災害発生後は、個人病院の医師や看護師は大規模病院への招集がかかり、**地元で医師や看護師がいなくなる可能性が高まります**。手賀の杜クリニックも同様(同医院長に確認済み)です。国道16号、県道船橋取手線は、緊急車両通行優先が敷かれ、手賀沼大橋の一般車両通行が制限されますので、我孫子市側の総合病院に行くことも大変です。沼南庁舎に向かっても、市の職員も被災している可能性が高く、職員がいない場合、汗して市役所を訪ねた努力も徒労になってしまいます。

問10：正解は㊸ これまでは最低三日分の備蓄が一般的でしたが、**災害の長時間化、復旧の遅れが災害の規模次第で顕著となることでは、できれば半月分の備蓄が求められています**。避難所に十分な水や食料があるとは思わない方が賢明です。公的支援は、外部から柏市に優先的に入る補償はありません。むしろ柏市は地形的に被災の規模は他より小さいことが想定されており、**自衛隊や救急隊などの支援は来ないものと考えましょう**。十分な公助がない、外部支援も直ぐには来ないと考え、各世帯で備蓄品をそろえておきましょう。